部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
●お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入は下記の「ホームページのご案内」参照）

部品名（P.1「各部のなまえ」参照）		部品番号
ふた・せん組（せんパッキンを含む）	ST-ZH45A	BB616K01L-01
	ST-ZH45S	BB619K01L-07
せんパッキン		BB478039M-01
替えストロー（ストローセット・ストローストッパー・チューブ）		ST-04-6B
ベルト（バックル・調節具・ネームプレート含む）	ST-ZH45A	BB428801L-02
	ST-ZH45S	BB454801N-08
ステンレスボトル用洗浄剤ピカボトル（10g×4包入り）		SB-ZA01

●ストローセット・ストローストッパー・チューブやせんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
●せんなどの樹脂は、食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換（有料）してください。
●補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター　フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-345135**
※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
●一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ……TEL（06）6356-2451（有料）
●FAXでのお問い合わせ……FAX（06）6356-6143（有料）
製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043　大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

■ホームページのご案内
象印マホービン　お客様サポートサイト　http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/

象印マホービン株式会社

ST-ZH / A

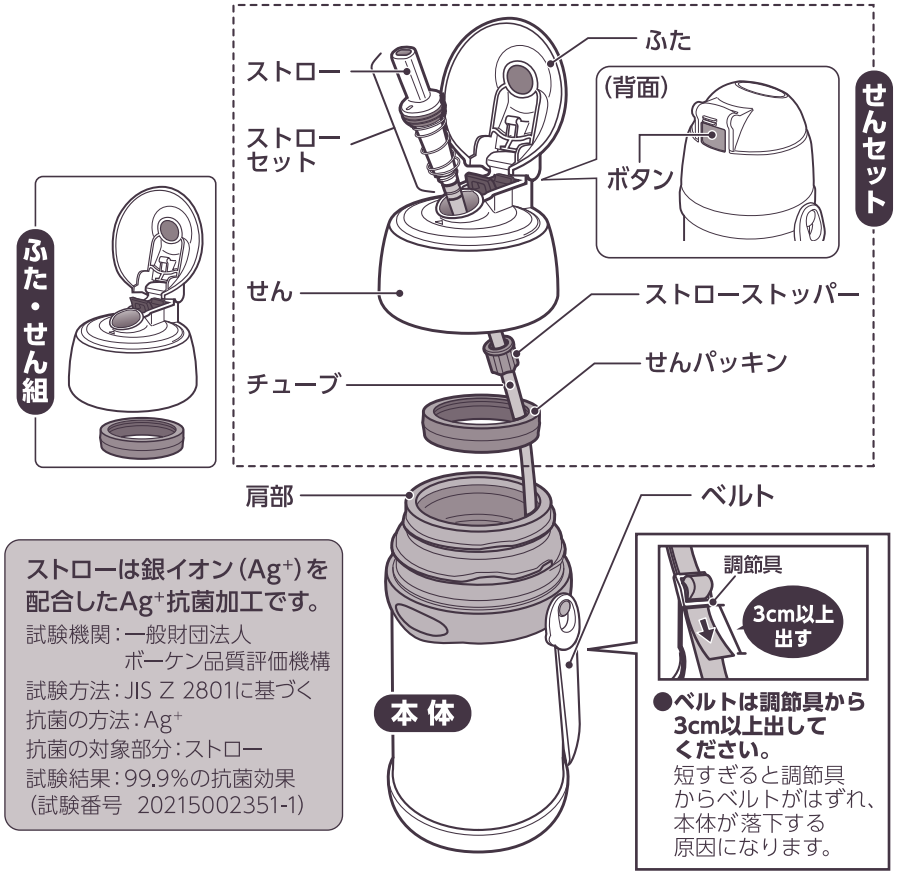
ZOJIRUSHI　保冷専用　家庭用

取扱説明書

ステンレス クールボトル
ST-ZH 型

ご使用前に必ずお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。
●ご使用ごとに各部品がつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



ストローは銀イオン（Ag^+）を配合したAg^+抗菌加工です。
試験機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構
試験方法：JIS Z 2801に基づく
抗菌の方法：Ag^+
抗菌の対象部分：ストロー
試験結果：99.9%の抗菌効果
（試験番号　20215002351-1）

●ベルトは調節具から3cm以上出してください。
短すぎると調節具からベルトがはずれ、本体が落下する原因になります。

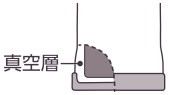
●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、飲み物の変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは必ずお守りください。

保護者の目の届かないところで使用させない。また、乳幼児のいたずらには十分注意する
けがなどの恐れがあります。

真空層の内部に水が入った場合は使用しない
内部の水がしみ出た場合、飲んで体調不良を起こす恐れがあります。



熱い飲み物は絶対に入れない
●湯が飛び出し、やけどの恐れがあります。
●誤って飲むとやけど・窒息の恐れがあります。

ストーブ・コンロなど火のそばに近づけない
やけどの恐れがあります。また、変形・変色の原因になります。

自動車走行中は飲まない
車内・衣類などを汚す原因になります。また、運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。

顔などを近づけた状態でボタンを押さない
ふたが開き、ストローが飛び出して顔などに当たり、けがをする恐れがあります。

せん・ふた・ストローを持って運んだり、振り回さない
指をはさんだり、落としてけがの恐れがあります。また、ふた・ストローの破損の原因になります。

改造・分解修理はしない
故障・事故の恐れがあります。

電子レンジでの加熱はしない
火花が飛ぶ恐れがあります。また、変形・変色の原因になります。

直火（ガス台など）・電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない　火災・故障の恐れがあります。

次の物は絶対に入れない
●ドライアイス・炭酸飲料など
製品内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットなどが破損して飛散する恐れがあります。
●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの
本体内側は、ステンレスにフッ素樹脂コーティングを施しておりますが、さびたり、保冷性能が低下する原因になります。
●牛乳・乳飲料・果汁など
成分が腐敗することがあります。また、長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、製品内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットなどが破損して飛散する恐れがあります。
●果肉・お茶の葉など
詰まる、漏れるなど故障の原因になります。

飲み物はその日のうちに飲みきる
腐敗の原因になります。また、長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、製品内の圧力が上がり、せんセットをはずすときにせんセットが飛んだり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散する恐れがあります。

飲み物の保冷以外に使用しない
冷たい飲み物を入れての保冷を目的としたものです。

ベルトを首に掛けたまま遊ばない。また、周囲のものに引っ掛けないよう注意する
窒息の恐れがあります。

ベルトを持って振り回さない
けがの恐れがあります。また、破損の原因になります。

ベルトを使用するときは、ベルトが素肌に直接あたらないようにする
肌にこすれて、けがの恐れがあります。

製品専用の部品以外はつけない
漏れ・故障の原因になります。

ご注意とお願い

飲み物の量は図の位置までにする
入れすぎてせんセットをつけると、飲み物があふれる原因になります。また、あとから漏れ出すことがあります。

飲み物の位置

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、本体表面がへこみ、保冷性能が低下する原因になります。

使用後はすぐに本体内側をよく洗う
さび・穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

本体外側の底に貼っているシールは絶対にはがさない
さび・穴あきなど故障の原因になります。

スポーツ飲料を入れて使用する場合は、次のことを守ること
●外出時など十分にお手入れができない場合でも、使用したあとはすぐに本体内側・本体外側（肩部）・せんセットをよく水洗いする
使用後放置しておくと、さび・穴あきなど故障の原因になります。
●本体内側のフッ素樹脂コーティングを傷つけないように、柔らかいスポンジなどでお手入れする
傷つくと、さび・穴あきなど故障の原因になります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形し、故障や漏れの原因になります。

使用後は必ずせんセット（ストローセット・ふた・せん・ストローストッパー・チューブ・せんパッキン）をきれいに洗う
腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また、飲み物が漏れる原因になります。

お手入れの際は次のことを守ること
●塩素系漂白剤は使用しない
さび・穴あきなどの故障の原因になります。
●煮沸はしない。また、食器洗い乾燥機・食器乾燥器などは使用しない
傷・さび・変形など故障の原因になります。

缶・びんなどを本体に入れない
変形し、故障の原因になります。

せんセットは確実につけて使用する。また、使用後はふたを閉める
漏れて衣類・バッグなどを汚す原因になります。

ふた・ストローセット・ストローストッパー・せんパッキンは必ずつけた状態で使用する
漏れて衣類・バックなどを汚す原因になります。

ふたを開けたまま製品を傾けない
漏れて衣類・バックなどを汚す原因になります。

お子様がストローを噛んだりしないよう注意する
ストローが変形し、漏れの原因になります。

湿度が高いときに冷たい飲み物を入れると、せんセットに水滴がつく場合があります。バッグなどには縦にして入れてください。

バックなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために製品を縦にして置いてください。

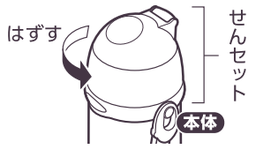
本体の絵柄をつめや固いもので ひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

使い方

●ご使用前にせんセット・本体内側・本体外側を、お手入れ方法に従って十分に洗ってください

1 本体からせんセットをはずす

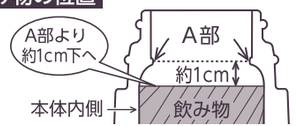
ふたを閉めた状態でせんセットを矢印の方向に回し、はずします。



2 冷たい飲み物を入れる

point あらかじめ本体に冷水を入れ、1分程度予冷すると効果的です。

飲み物の位置



3 せんセットをつける

ふたを閉めた状態で、せんセットを矢印の方向に回し、確実につけます。せんセットはおとなの方がつけてください。

●せんパッキンが正しくつけられていることを確認の上、ご使用ください。
(飲み物が漏れる原因になります。
P.6「1.せんパッキンをつける」参照)
●せんセットは本体を立てた状態で、確実につけてください。
●氷を入れすぎると、チューブが折れ曲がり、飲み物が最後まで飲めないことがあります。
●製品を逆さにして漏れのないことを確認してください。漏れた場合はP.9「故障かなと思ったとき」参照

4 ふたを開けて飲み物を飲む

①製品を立てた状態でボタンの中央部を押し、ふたを開き、ストローを出す

②ストローから飲み物を飲む

ふたを開けるときは、製品を両手で持ち、ボタンを押してください。

5 飲み終わったら、ふたを閉める

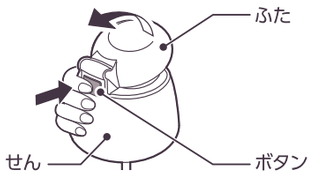
製品を立てた状態で、ふたの中央部を矢印の方向に押して、カチッと音がするまで確実に閉める

●ふたを閉める際、指を挟まないようご注意ください。
●ふたが確実に閉まっていないと、不意に開く場合があります。
●ボタンを誤って押さないように注意してください。

せんセットの分解方法

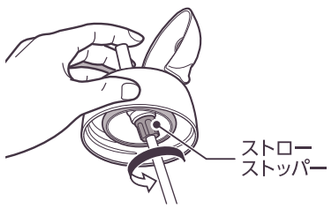
●組立方法はP.6〜8参照

1 ボタンを押してふたを開ける

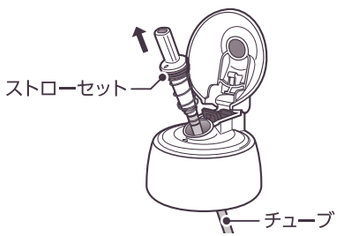


2 ストローの先を押し込みながら、ストローストッパーを矢印の方向に回し、はずす

ストローストッパーは紛失しないよう注意してください。

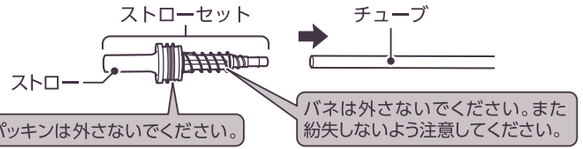


3 ストローセットを矢印の方向へ抜く



せんセットの分解方法 つづき

4 ストローセットからチューブをはずす



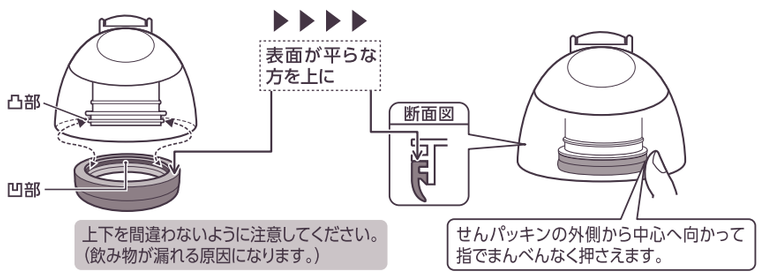
5 せんパッキンをはずす

せんセットの組立方法

●ストローセット・ストローストッパー・チューブ・せんパッキンは、正しくつけてください。
(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)
●分解方法はP.5、6 参照

1 せんパッキンをつける

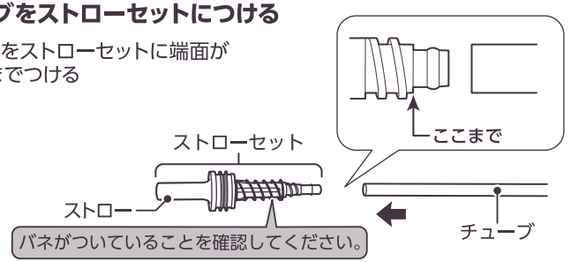
せんパッキンの凹部とせんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにしてつけます。



せんセットの組立方法 つづき

2 チューブをストローセットにつける

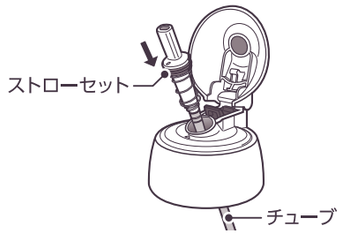
チューブをストローセットに端面が当たるまでつける

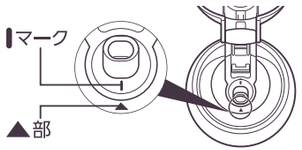


3 ストローセットをせんに差し込む

①せんの上方向から
ストローセットを差し込む

②せんの▲印にストローの❙マークを合わせ、ストローを奥まで押し込む





4 ストローストッパーをつける

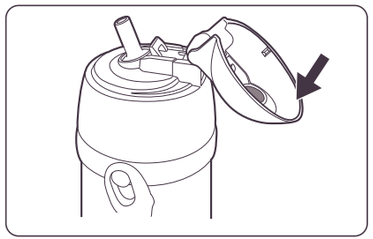
①ストローストッパーをチューブに差し込み、ストローセットまで移動させる
②ストローの先を押し込みながら、ストローストッパーを矢印の方向に回し、つける

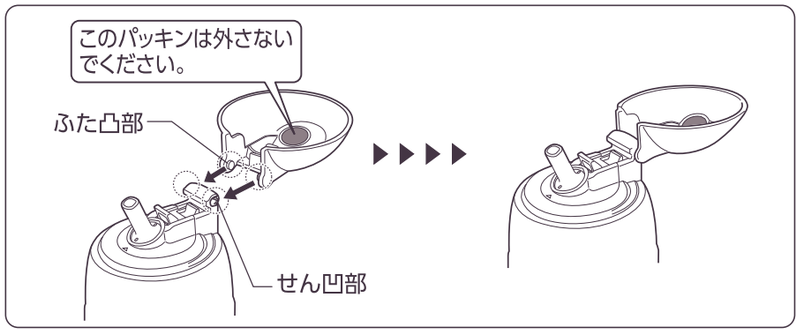
●ストローストッパーを強く回しすぎないでください。(変形の原因になります。)
●ストローストッパーはイラストの方向でつけてください。

5 ふたを閉じる

ふたがはずれたときは…

●ふたは右図のように矢印の方向に押すとはずれる構造です。はずれた場合は、下図のようにせんの凹部とふたの凸部を合わせてつけてください。





お手入れ

●におい・汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。(P.5、6「せんセットの分解方法」参照)

本体外側 **せんセット**	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う ②すすぎ洗いのあと、水が残らないように数回振り、水気をふいてよく乾燥させる ●ベルトをはずしてからお手入れしてください。 ●せんセットは分解した状態でそれぞれ洗って、乾燥させてください。 ●洗いにくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。
本体内側	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う ②すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる
ベルト	柔らかい布をぬるま湯に浸し、固く絞ってからふく

お手入れ時の注意

●煮沸はしないでください。また、食器洗い乾燥機・食器乾燥器などは使用しないでください。
●シンナー・ベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザー・メラミンスポンジなどは、使用しないでください。
製品を損傷する原因になります。
●塩素系漂白剤は使用しないでください。また、本体外側の塗装・印刷・シールは、塩素系以外の漂白剤でも、はがれる原因になるため、お手入れには使用しないでください。
●本体は丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
●本体を丸洗いしたあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。
水滴のあとやさびが発生する原因になります。
●長期間ご使用にならない場合は、ぬるま湯か水で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。
製品が損傷する原因になります。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質・不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、せんセットをつけずに30分〜1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。(P.8、9「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

本体内側・せんセットにこびりついた茶しぶ・コーヒーなどの汚れには「ステンレスボトル用洗浄剤ピカボトル」をご利用ください。(別売品)(P.10参照)
●ピカボトルを使用する場合は、せんセットを本体からはずしてください。

故障かなと思ったとき

症　状	原　因	処　置
せんセットから飲み物が漏れる	ふた・ストローセット・せんパッキンが正しく、しっかりつけられていますか。	ふた・ストローセット・せんパッキンの取りつけ位置や方向・浮きがないことを確認してください。(P.6〜8「せんセットの組立方法」参照)
	せんセット(ストローセット・ふた・せん・ストローストッパー・チューブ・せんパッキン)が汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。(P.8、9「お手入れ」参照)
	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.3 飲み物の位置 参照)
飲み物(本体内側・せんセット)がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・せんセット・パッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(P.8、9「お手入れ」参照)
保冷が効かない	十分に冷たい飲み物を入れていますか。	十分に冷たい飲み物を正しい位置まで入れてください。 予冷するとより効果的です。 (P.4「2冷たい飲み物を入れる」参照)
本体を振ると「シャカシャカ」という音がする	保冷効果を高めるために、本体内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。	